

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 Hiクラテス株式会社

上場取引所

東

コード番号 4172

URL <https://www.hi-crates.co.jp/>

代表者（役職名） 取締役COO

（氏名） 飯塚 正也

問合せ先責任者（役職名） 取締役COO

（氏名） 小林 宏次

（TEL）086-243-3003

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	1,914	9.1	507	21.9	620	21.5	413	21.5
2025年9月期第3四半期	1,754	10.7	416	20.6	510	4.9	340	3.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益		売上高 営業利益率		売上高 経常利益率	
	円	銭	円	銭	％	％	％	％
2026年9月期第3四半期	185	79	—	—	26.5	32.4	21.6	21.6
2025年9月期第3四半期	152	91	—	—	23.7	29.1	19.4	19.4

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	％	百万円	％	％	％
2026年9月期第3四半期	5,107	86.2	4,402	86.2	86.2	86.2
2025年9月期	4,721	88.9	4,196	88.9	88.9	88.9

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 4,402百万円 2025年9月期 4,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2025年9月期	—	44.00	—	49.00	93.00
2026年9月期	—	44.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	44.00	88.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. （1）2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円
通期	2,484	3.2	562	2.3	662	1.6	451	0.8	202.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（2）経営指標

	株価収益率 （PER）	株価純資産倍率 （PBR）	自己資本利益率 （ROE）
	倍	倍	％
2026年9月期（予想）	10.7	1.1	10.6
2025年9月期	12.1	1.3	11.0

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	2,228,000株	2025年9月期	2,228,000株
2026年9月期3Q	165株	2025年9月期	165株
2026年9月期3Q	2,227,835株	2025年9月期3Q	2,227,901株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(4) 3. (2) 経営指標の計算方法については以下の通りです。

PERは株価終値を1株当たり純利益(2026年9月期は業績予想数値を使用)で割って計算しております。

PBRは株価終値を1株当たり純資産で割って計算しております。

ROEは純利益(2026年9月期は業績予想数値を使用)を期中平均の純資産で割って計算しております。

2026年9月期(予想)の株価は2026年6月30日終値の2,170円で計算しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、AI・半導体関連を中心とした設備投資の拡大など、企業の投資意欲は底堅く推移した一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油・ナフサ価格の上昇によるガソリン価格やプラスチック容器などの資材価格の高騰、生活必需品の相次ぐ値上げに加え、日本銀行による政策金利の1.0%への引き上げ（1995年以来約31年ぶり）など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

そのような中、歯科業界では、令和8年度の診療報酬大改定を契機に「攻めの予防医療」による健康寿命延伸へ向け、歯科医療のあり方が根本から覆される歴史的な大転換期を迎えています。具体的には「削って詰める治療から予防へ」「来院を待つ外来から訪問へ」というパラダイムシフトであり、歯科医院には早急な経営改革と業務オペレーションの改善が強く強く求められています。ところが、政府が掲げる医療DX、特に医療情報基盤の根幹である電子処方箋管理サービスの導入ですら「院内処方への未対応」や「追加コストの発生」など様々な課題があり、普及率は僅か10.7%に留まるなど深刻な問題が発生しています。

そこで当社は、こうした業界の状況を医院経営変革への重要な機会と捉え、4月の近畿デンタルショー、5月の日本デジタル歯学会への出展を通じて、医療DXによる医院経営の刷新を訴求すると共に、令和8年度診療報酬改定「歯科AI革命で生産性3倍」と題したWEBセミナーを計5回開催いたしました。また、診療報酬改定のポイントを解説した冊子（完全解説書）を作成して、医療情報プラットフォーム創設による医療情報基盤（電子処方箋・電子カルテ情報共有サービス等）整備、及び、歯周病予防強化・訪問診療強化・医科歯科連携強化の重要性を訴求すると共に、社会問題である「衛生士不足・健康寿命の延伸・国の医療費抑制」の課題解決へ向け、「AI・音声電子カルテ統合システム

Revo. 11」「AI・音声歯周病精密検査」「AI・音声サブカルテ」を核とした  拡販に注力することで、歯科医院の持続的な成長へ貢献して参りました。

このような取り組みの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,914,347千円（前年同期比9.1%増）、営業利益507,754千円（同21.9%増）、経常利益620,242千円（同21.5%増）、純利益413,911千円（同21.5%増）となり、自己資本比率86.2%、売上高経常利益率32.4%、売上高当期純利益率21.6%、2026年9月期予想ベースで PER 10.7倍、PBR 1.1倍、ROE 10.6%と過去最高の利益水準および経営指標となっております。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は5,107,788千円となり、前事業年度末と比較して385,855千円増加いたしました。

a. 流動資産

流動資産は2,680,515千円となり、前事業年度末より238,401千円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加182,790千円と、売掛金の増加111,836千円、預け金の増加132,900千円であります。

b. 固定資産

固定資産は2,427,273千円となり、前事業年度末より147,454千円増加いたしました。主な内訳は、ソフトウェアの減少39,507千円、有価証券の取得に伴う投資有価証券の増加159,393千円であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は704,970千円となり、前事業年度末と比較して179,119千円増加いたしました。

a. 流動負債

流動負債は636,604千円となり、前事業年度末より170,340千円増加いたしました。主な内訳は、買掛金の増加52,278千円、未払金の増加17,797千円、未払法人税等の減少12,014千円、賞与引当金の減少12,846千円であります。

b. 固定負債

固定負債は68,365千円となり、前事業年度末に比べて大きな増減はありませんでした。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は4,402,818千円となり、前事業年度末と比較して206,736千円増加いたしました。配当金の支払いが207,188千円生じた一方、四半期純利益を413,910千円計上したことにより利益剰余金が206,722千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました「2025年9月期 決算短信」の通期予想を据え置いております。

2026年7月23日付の日本経済新聞において、厚生労働省が「電子カルテ製品の認証制度」を創設する方針であることが報じられました。本制度は、主に中小規模の病院・診療所における電子カルテの導入を後押し、医療DXや医療情報の共有を推進することを目的として、国が定める標準仕様への準拠を認証する仕組みであり、2026年9月の要綱公表、2027年4月の運用開始が予定されています。

しかしながら、「電子カルテ製品の認証制度」は、電子処方箋管理サービスに加え、その1,000倍のシステム改修規模を持つ電子カルテ情報共有サービスとの接続が必須要件となっており、歯科業界においては、電子処方箋管理サービスの対応ですら十分に進んでいない状況から、これらの高度な接続要件を満たし、国が定める「電子カルテ製品の認証制度」を確実に対応できる会社は、当社だけであると確信しています。

このような事業環境を成長機会と捉え、当社は引き続き、政府が推進する医療DX、特に電子処方箋や電子カルテ情報共有サービスをはじめとする医療情報基盤の整備と、歯周病予防強化・訪問診療強化・医科歯科連携強化の重要性を広く訴求してまいります。

また、「時は今、AI音声なくして経営なし」「歯科AI革命で生産性3倍!」を掲げ、当社の



こそが、これからの医院経営改革へ繋がる真の商品であることを、8月の日経IRを通じて広く発信してまいります。さらに、その圧倒的な差別化を11月の東京デンタルショーで高め、歯科医療DXを牽引するリーディングカンパニーとして、業界の確かな未来を切り拓いて参ります。

これらの取組みを通じて、2026年9月期は売上高24億84百万円、経常利益6億62百万円（売上高経常利益率26.7%）、当期純利益4億51百万円（売上高当期純利益率18.2%）へ3期連続最高益更新を着実に達成するとともに、2030年9月期には売上高40億円、経常利益12億円、当期純利益8億円、売上高経常利益率30%、売上高純利益率20%達成を確かなものとして参ります。引き続き、最大の成長期へ突入した当社の動向に期待して下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,087	1,679,878
売掛金	175,659	287,495
有価証券	199,880	—
商品	120,474	120,070
前払費用	39,340	48,692
未収入金	2,992	4,752
預け金	406,679	539,580
その他	—	46
流動資産合計	2,442,113	2,680,515
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	288,019	309,941
構築物（純額）	1,784	1,648
車両運搬具（純額）	3,746	9,031
工具、器具及び備品（純額）	44,109	49,149
土地	387,987	387,987
有形固定資産合計	725,647	757,756
無形固定資産		
ソフトウェア	158,619	119,112
その他	3,208	3,021
無形固定資産合計	161,828	122,133
投資その他の資産		
投資有価証券	1,284,780	1,444,173
関係会社株式	30,000	30,000
敷金及び保証金	24,990	24,669
繰延税金資産	51,623	47,695
その他	949	844
投資その他の資産合計	1,392,343	1,547,382
固定資産合計	2,279,818	2,427,273
資産合計	4,721,932	5,107,788

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,103	85,381
未払金	214,734	232,532
未払法人税等	115,518	103,503
未払消費税等	45,703	28,846
預り金	5,932	11,064
賞与引当金	12,846	—
その他	38,425	175,275
流動負債合計	466,264	636,604
固定負債		
退職給付引当金	59,586	68,365
固定負債合計	59,586	68,365
負債合計	525,850	704,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	343,080	343,080
資本剰余金	297,480	297,480
利益剰余金	3,563,080	3,769,802
自己株式	△318	△318
株主資本合計	4,203,322	4,410,044
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,240	△7,226
評価・換算差額等合計	△7,240	△7,226
純資産合計	4,196,081	4,402,818
負債純資産合計	4,721,932	5,107,788

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,754,897	1,914,347
売上原価	415,359	424,004
売上総利益	1,339,537	1,490,342
販売費及び一般管理費	923,028	982,589
営業利益	416,509	507,753
営業外収益		
受取利息	999	3,761
有価証券利息	9,081	28,272
受取配当金	18,800	5,358
受取手数料	540	540
投資有価証券評価益	—	9,350
投資有価証券売却益	50,714	53,613
その他	13,817	11,593
営業外収益合計	93,953	112,488
経常利益	510,462	620,242
固定資産売却益	—	3,849
特別利益合計	—	3,849
税引前四半期純利益	510,462	624,092
法人税、住民税及び事業税	174,936	206,257
法人税等調整額	△5,131	3,923
法人税等合計	169,805	210,181
四半期純利益	340,657	413,910

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、歯科医院向けシステム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	61,463 千円	77,956 千円